

令和6年度 幼保連携型認定こども園自己評価

園名 吹田市立はぎのきこども園

認定こども園法第23条において、幼保連携型認定こども園における教育及び保育並びに子育て支援事業の状況、その他の運営の状況について評価を行い、その結果に基づき幼保連携型認定こども園の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。このことに基づき、公立幼保連携型認定こども園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

こころゆたかに たくましく 一出会い 認め合い 育ちあいー

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
教育・保育理念	A	全職員で人権の研修を行い一人ひとりを尊重した保育を行った。
こどもの発達援助	A	会議等で子供たちの姿を共有し子供理解を深め、園全体として子供たちの発達を保障してきた。
保護者との連携	B	保護者の思いに寄り添い丁寧な対応を心掛けたが、連絡、伝達が遅くなってしまうことがあった。
地域との連携	A	地域事業を実施し、地域の方と交流してきた。安心できる居場所作りに心掛けた。
運営・管理、社会的責任	A	職員会議で意見を出し合い民主的な運営に努めた。
職員の資質向上	B	研修等で学んだことを共有し、保育実践に活かせるようにしている。
安心・安全	A	園内の危険箇所を見直したり、ヒヤリハットを共有したりする中で修繕や改修を行い環境を整えている。

今年度の評価

安心・安全な保育

・常に子供を中心に考え最善な保育・手立てができるよう、安心安全の保育教育を行ってきた。人権に関する学びの場を持ち、職員全体で意識することを心掛けた。

来年度の目標

安心・安全な教育・保育
子どもを主体とした生活づくりと遊び